

# 令和4年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	特定非営利活動法人 スマートらいふネット
実施事業名	予約システムから把握する外国人のための通訳付き”常設夜間休日HIV検査相談事業PartⅢ” (通称”通訳付き外国人検査相談事業PartⅢ”)
団体代表者	特定非営利活動法人 理事長 毛受 矩子
事業の目的	令和4年度総受検者はコロナ前の約9割強と回復してきた。内、外国人受検者も年々増加傾向にある。感染不安を持ちつつ言語の障壁により必要な検査が受けられない外国人に対して、言語の障壁を取り除いた「通訳付き外国人検査相談事業」を実施し、感染の早期発見、早期医療に繋げる事を目的とした。通訳はNPO法人CHARMの協力を得てZoomによるリモート通訳として実施した。
事業の達成度	<p>令和4年度は総受検者数に占める外国人受検者数は519名(48ヶ国)、総受検者に対する割合は7.8%であった。</p> <p>外国人受検者で多い国順は①中国、②ベトナム、③フィリピンであった。 「通訳付き定例検査日として第1日曜日即日検査(予約制)」を設定した。 「偶数月：英語、中国語」、「奇数月：中国語、ベトナム語」として実施した。</p> <p>&lt;通訳付き定例検査日(8回/年)の受検者数&gt; 定例日に予約した20名について「通訳付き検査」が実施できた。 「母国語での相談説明は話しやすく理解ができて良かった」の感想が多かった。</p> <p>&lt;外国人の要確認検査の検査結果返しには通訳付きとして実施&gt; 外国人の「要確認検査者」の「検査結果返し日には直接通訳付き」にて4名の陽性者に実施できた。</p> <p>&lt;本助成金事業成果の結果：次年度から継続的制度化事業開始&gt; 3年間の助成金事業の試行段階を経て令和5年度から行政予算化のもとで「毎月第1日曜日の即日検査日」に”通訳付き外国人検査 相談事業”として継続的に事業化される事となった。</p>
<p>対象となった人数(実数)</p> <p>具体的活動内容</p> <p>事業実績</p>	<p>&lt;定例日8回の即日検査&gt; ①英語通訳にて検査5名、②中国語通訳にて検査8名、③ベトナム語通訳にて検査7名=合計通訳付き外国人検査相談実施20名。</p> <p>&lt;定例日外の要確認検査の検査結果返し説明&gt; 即日検査で「要確認検査」となった外国人受検者に対して結果返し時に通訳付きにて「陽性告知」を説明実施した。 ①英語通訳3名、②中国語通訳：0名、③ベトナム語通訳：1名として合計4名</p> <p>&lt;広報・宣伝&gt; ①行政と協働して各保健所(保健センター)窓口にて広報案内を実施した。 ②大学関係、他NPO、NGOへの広報依頼実施した。 ③HPのトップにバナーとして広報実施した。また検査受検者に案内ビラを配布し、友人知人への紹介を依頼した。</p> <p>&lt;予約システムから受検者の外国語を把握し、一環した流れの検査体制の実施&gt; ①予約システムに「受検者情報：言語入力項目」を取り入れた事により、予約時から多言語対応の検査体制が構築できた。 ②通訳がない検査日においては、多言語翻訳機器(ポケトーク)を駆使しての検査を実施した。</p> <p>&lt;通訳付き検査体制の調整&gt; ①NPO法人CHARMとの連絡調整会議を持ちながら遂行した。 ②行政との連絡調整会議を持ちながら、外国人受検者に対する早期発見の重要性を検討し事業化の必要性を検討していった。</p> <p>&lt;学会報告とスタッフ研修会&gt;：学会発表、スタッフ研修会等により検査の質的向上を図った。 ①第36回日本エイズ学会(浜松)にてポスター発表：「常設夜間休日検査相談事業における”通訳付き外国人検査相談事業”」 ②スタッフ研修会：川畑拓也講師「世界のHIV感染状況と即日検査に関する最新情報」 ③スタッフ研修会：白坂琢磨講師「HIV/AIDS予防と治療に関する最新情報と検査機関に期待するもの」</p>

具体的活動内容「通訳付き外国人検査相談事業(エイズ予防財団助成金事業)」を掲載 [http://www.smartlifeclinic.com/?post\\_type=info&p=2168](http://www.smartlifeclinic.com/?post_type=info&p=2168)  
3種の案内ビラ掲載：

